

※下線は更新部分

※本情報は中国当局プレスリリース等の仮訳に基づく

中国におけるアフリカ豚コレラ発生事例について

農林水産省の対応

農林水産省は、初発の時点で既に実施していた口蹄疫等の防疫対策の徹底に加え、今般の発生をふまえ、動物検疫所では水際対策を強化。また、都道府県および関係団体等の国内関係者に関連情報および国内対策について通知済み。

発生件数

1市7省1区 50 か所 (42 農場、2 施設、6 村 (※))

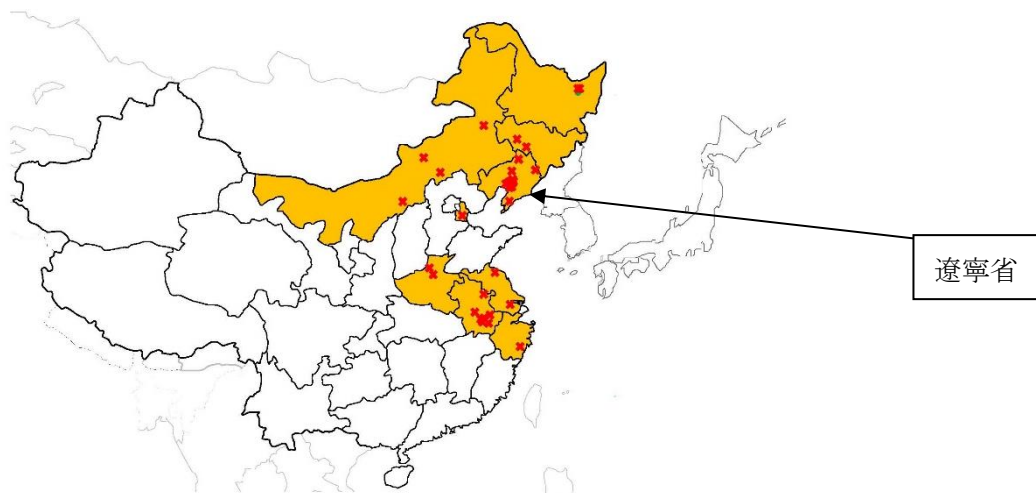
※21 報目については村単位での発生報告。

(28 報目) 10 月 16 日公表 発生数 : 3 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 10 月 16 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 鉄嶺市 (てつれいし) 開原市 (かいげんし) 慶雲堡鎮、遼寧省盤錦市 (ばんきんし) 大窪区 (だいわく) 清水鎮、および遼寧省盤錦市大窪区王家街道の農場



<経緯>

10 月 15 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、遼寧省鉄嶺市開原市および遼寧省盤錦市 (ばんきんし) 大窪区 (だいわく) の 3 農場にてアフリカ豚コレラが確定診断された。鉄嶺市開原市の農場では 6640 頭の豚を飼育しており、その

うち 50 頭が症状を呈し、14 頭が死亡。盤錦市大窪区清水鎮の農場では 4243 頭の豚を飼育しており、そのうち 1030 頭が症状を呈し、1030 頭が死亡。盤錦市大窪区王家街道の農場では 3223 頭の豚を飼育しており、そのうち 31 頭が症状を呈し、20 頭が死亡。

<中国当局の対応>

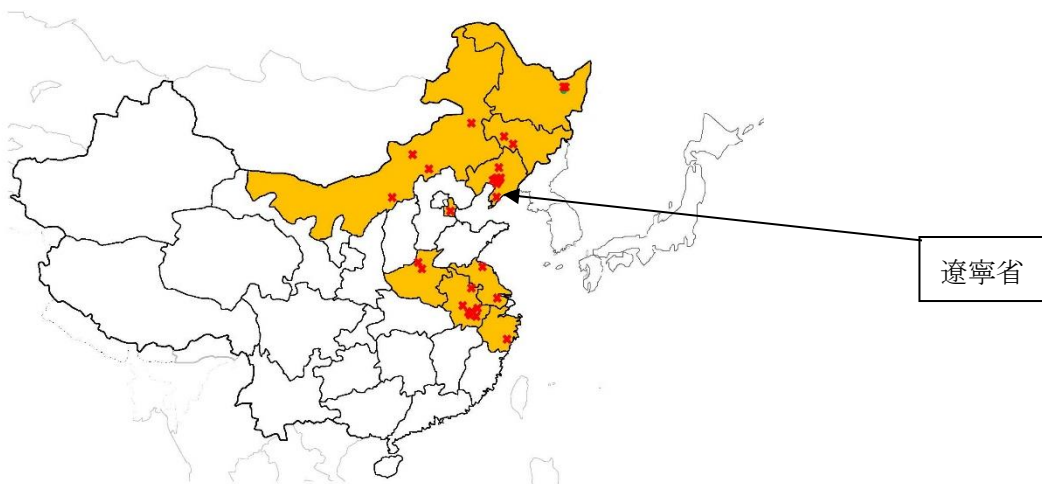
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(27 報目) 10 月 15 日公表 発生数 : 3 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 10 月 15 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 錦州市 (きんしゅうし) 北鎮市 (ほくちんし)、遼寧省盤錦市 (ばんきんし) 大窪区 (だいわく) 王家街道曙光村、および遼寧省盤錦市大窪区王家街道王家村の農場



<経緯>

10 月 14 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、遼寧省錦州市北鎮市及び盤錦市の 3 農場にてアフリカ豚コレラが確定診断された。錦州市北鎮市の農場では 19938 頭の豚を飼育しており、そのうち 221 頭が症状を呈し、221 頭が死亡。盤錦市大窪区王家街道曙光村の農場では 1571 頭の豚を飼育しており、そのうち 109 頭が症状を呈し、109 頭が死亡。盤錦市大窪区王家街道王家村の農場では 270 頭の豚を飼育しており、そのうち 129 頭が症状を呈し、129 頭が死亡。

<中国当局の対応>

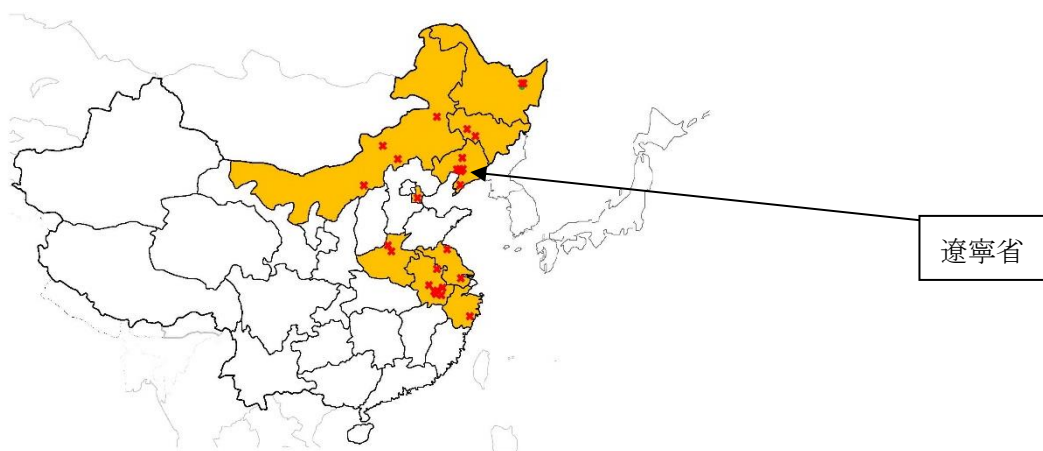
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(26 報目) 10 月 14 日公表 発生数 : 1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 10 月 14 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 鞍山市 (あんざんし) 台安県 (たいあんけん) 桑林鎮 (そうりんちん) の農場



<経緯>

10 月 14 日 遼寧省鞍山市台安県桑林鎮の農場から送付されたサンプルがアフリカ豚コレラウイルスの陽性反応を示し、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにより、アフリカ豚コレラであると確定診断された。当該農場では 180 頭の豚を飼育しており、そのうち 14 頭が症状を呈し、14 頭が死亡。

<中国当局の対応>

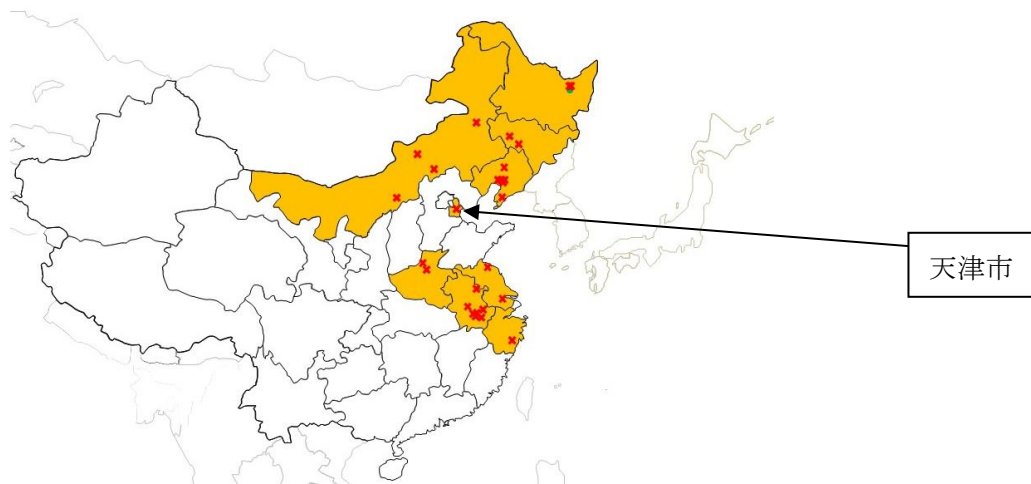
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(25 報目) 10 月 12 日公表 発生数 : 1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 10 月 12 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

天津市 (てんしんし) 薊州区 (けいしゅうく) 侯家宮鎮 (こうけえいちん) の農場



<経緯>

10 月 12 日 天津市薊州区侯家宮鎮の農場から送付されたサンプルがアフリカ豚コレラウイルスの陽性反応を示し、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにより、アフリカ豚コレラであると確定診断された。当該農場では 639 頭の豚を飼育しており、うち 292 頭が症状を呈し、189 頭が死亡。

<中国当局の対応>

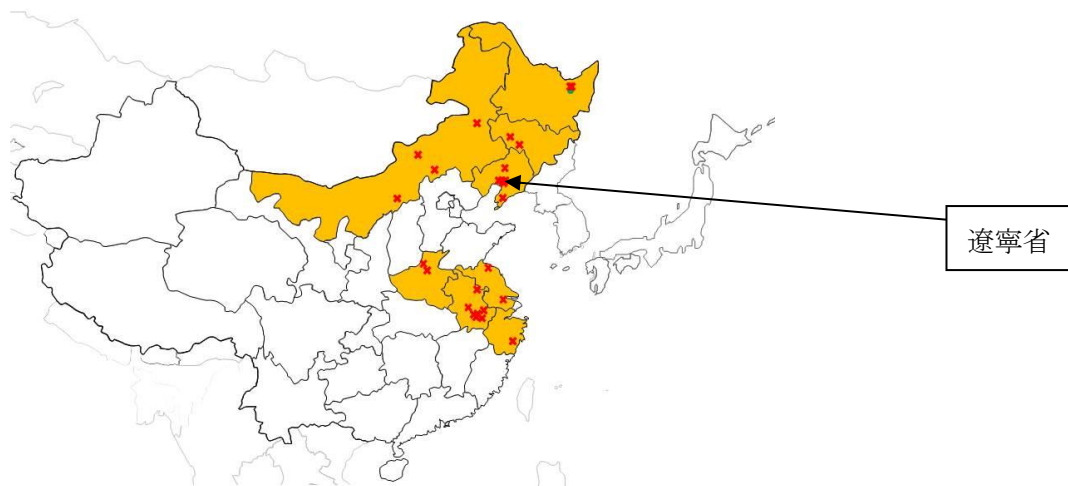
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(24 報目) 10 月 12 日公表 発生数 : 1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 10 月 12 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 鞍山市 (あんざんし) 台安県 (たいあんけん) 新台鎮 (しんたいちん) の農場



<経緯>

10 月 12 日 遼寧省鞍山市台安県新台鎮の農場から送付されたサンプルがアフリカ豚コレラウイルスの陽性反応を示し、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにより、アフリカ豚コレラであると確定診断された。当該農場では 120 頭の豚を飼育しており、そのうち 88 頭が症状を呈し、72 頭が死亡。

<中国当局の対応>

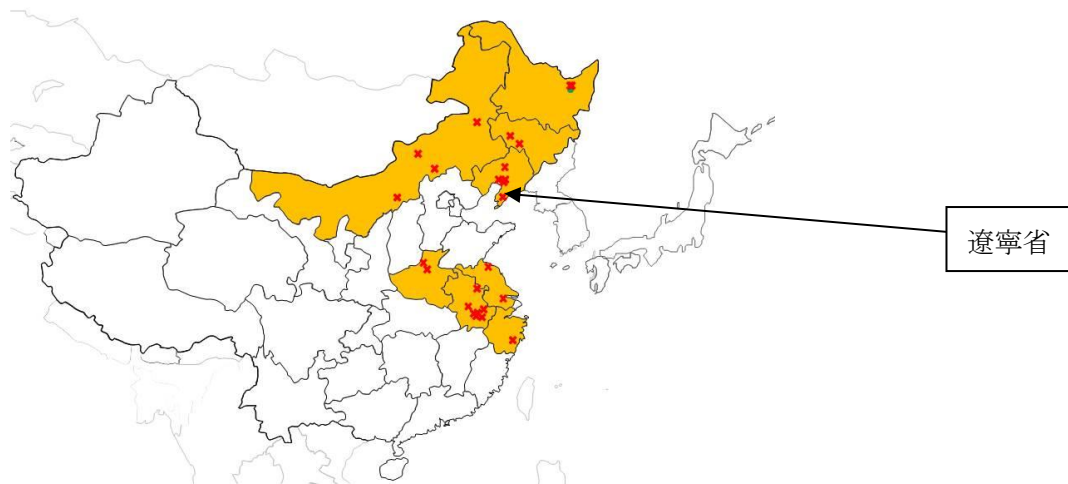
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(23 報目) 10 月 11 日公表 発生数：1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 10 月 11 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省（りょうねいしょう）大連市（だいにんし）普蘭店区（ふらんでんく）の農場



<経緯>

10 月 11 日 遼寧省大連市普蘭店区の農場から送付されたサンプルがアフリカ豚コレラウイルスの陽性反応を示し、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにより、アフリカ豚コレラであると確定診断された。当該農場では 1353 頭の豚を飼育しており、そのうち 20 頭が症状を呈し、11 頭が死亡。

<中国当局の対応>

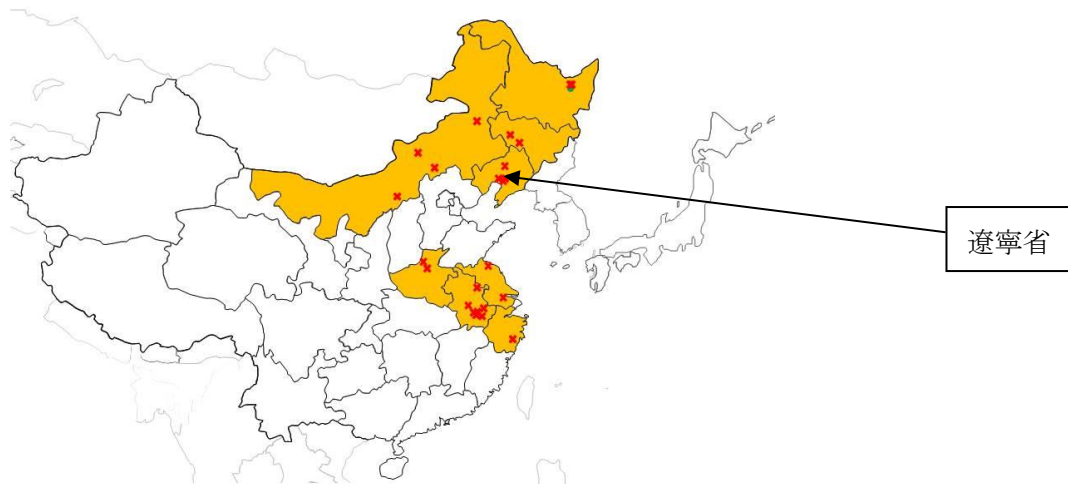
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(22 報目) 10 月 9 日公表 発生数：1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 10 月 9 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省（りょうねいしょう）鞍山市（あんざんし）台安县（たいあんけん）の農場



<経緯>

10月8日 遼寧省鞍山市台安县の農場から送付されたサンプルから、アフリカ豚コレラウイルスが検出され、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラであると確定診断された。当該農場では460頭の豚を飼育しており、そのうち160頭が症状を呈し、160頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(21 報目) 10 月 8 日公表 発生数：6 村

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 10 月 8 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省（りょうねいしょう） 營口市（えいこうし） 大石橋市（だいせききょうし） 高坎鎮（こうかんちん）の革家村、旗口鎮（きこうちん）の宿東村、王厰村および新興村、老辺区（ろうへんく）路南鎮（ろなんちん）の新立村ならびに辺城鎮（へんじょうちん）の北於楊村の農場



<経緯>

10月7日 營口市から送付されたサンプルからアフリカ豚コレラウイルスが検出され、中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、遼寧省營口市大石橋市、および老辺区の農場にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場（確認中）で飼育されている豚の総数は 3358 頭であり、そのうち 334 頭が症状を呈し、93 頭が死亡。

<中国当局の対応>

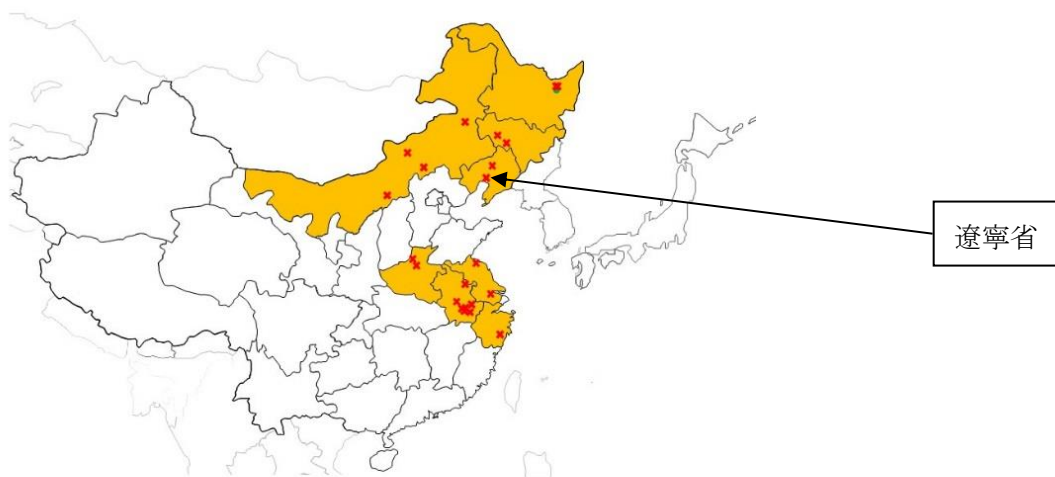
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(20 報目) 9 月 30 日公表 発生数 : 5 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 9 月 30 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 営口市 (えいこうし) 大石橋市 (だいせききょうし) 高坎鎮 (こうかんちん) および旗口鎮 (きこうちん)、老辺区 (ろうへんく) 路南鎮 (ろなんちん) の農場



<経緯>

- 9 月 28 日 営口市から遼寧省動物疾病予防管理センターに送付されたサンプルの一部から、アフリカ豚コレラウイルス遺伝子が検出された。
- 9 月 30 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、遼寧省営口市大石橋市、および老辺区の 3 地区 5 農場にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該 3 地区 5 農場では、378 頭の豚を飼育しており、そのうち 102 頭が症状を呈し、102 頭が死亡。内訳は、高坎鎮の農場では、130 頭飼育、22 頭臨床症状あり、22 頭死亡、旗口鎮の農場では、239 頭飼育、78 頭臨床症状あり、78 頭死亡、路南鎮の農場では 9 頭飼育、2 頭臨床症状あり、2 頭死亡。

<中国当局の対応>

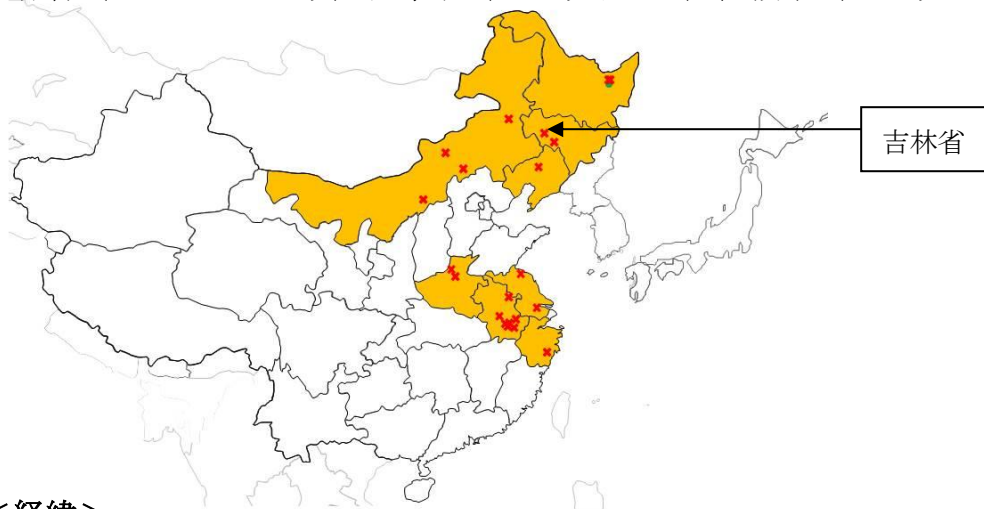
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(19 報目) 9 月 28 日公表 発生数：1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 9 月 28 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

吉林省（きつりんしょう）松原市（しょうげんし）長嶺県（ちょうれいけん）の農場



<経緯>

9 月 28 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、吉林省松原市長嶺県の農場にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 44 頭の豚を飼育しており、そのうち 8 頭が症状を呈し、3 頭が死亡。

<中国当局の対応>

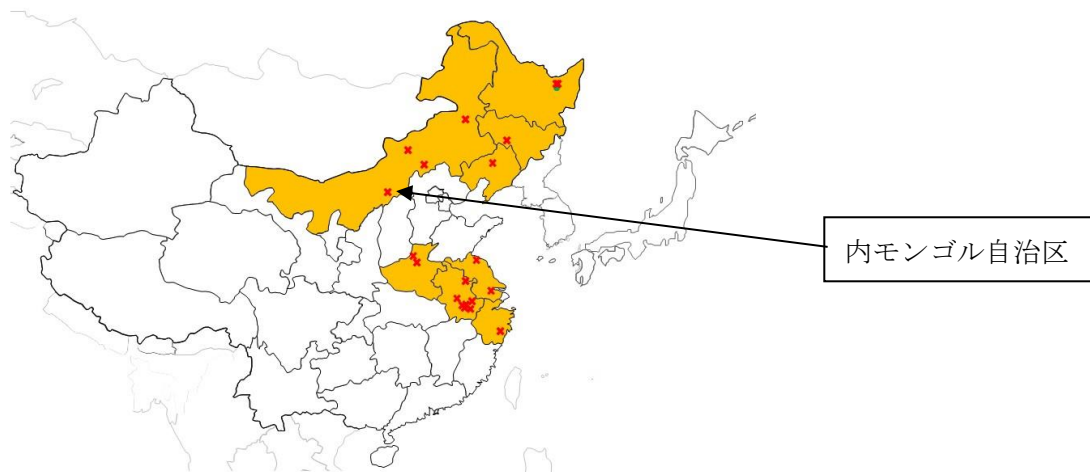
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(18 報目) 9 月 24 日公表 発生数：1 施設

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 9 月 24 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

内モンゴル自治区呼和浩特市（フフホト市）のと畜場



<経緯>

- 9 月 22 日 内モンゴル自治区フフホト市のと畜場の獣医師が検査中に、豚が死亡しているのを発見。
- 9 月 23 日 午後、内モンゴル自治区動物疾病予防管理センターにより、アフリカ豚コレラの疑いがあると診断された。
- 9 月 24 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラが確定診断された。と畜場の 388 頭の豚のうち 4 頭が症状を呈し、2 頭が死亡。

<中国当局の対応>

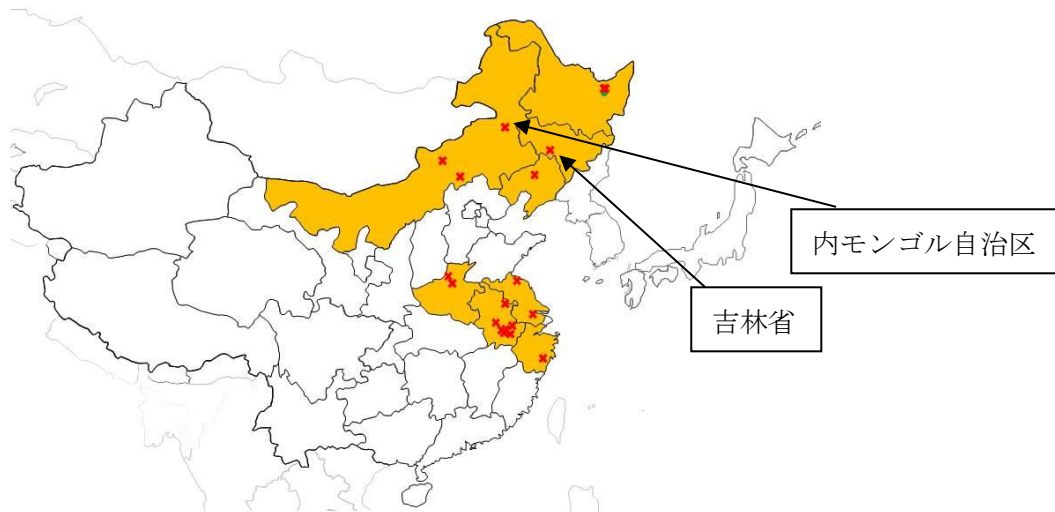
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(17 報目) 9 月 21 日公表 発生数 : 2 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 9 月 21 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

吉林省 (きつりんしょう) 四平市 (しへいし) 公主嶺市 (こうしゅれいし) 南崑子鎮 (なんくわんし) および内モンゴル自治区 (ないもんごるとうぢく) ヒンガン盟 (ひんがんめい) ホルチン右翼中旗 (ほるとしんうよくちゅうき) の農場



<経緯>

- 9 月 17 日 吉林省四平市公主嶺市南崑子鎮の農場で豚の異常が発見され、9 月 19 日に死亡。内モンゴル自治区獣医部はヒンガン盟ホルチン右翼中旗の農場で死亡豚を確認。
- 9 月 20 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラが確定診断された。吉林省の農場では 484 頭の豚を飼育しており、そのうち 56 頭が症状を呈し、56 頭が死亡。内モンゴル自治区の農場では 138 頭の豚を飼育しており、そのうち 23 頭が症状を呈し、22 頭が死亡。

<中国当局の対応>

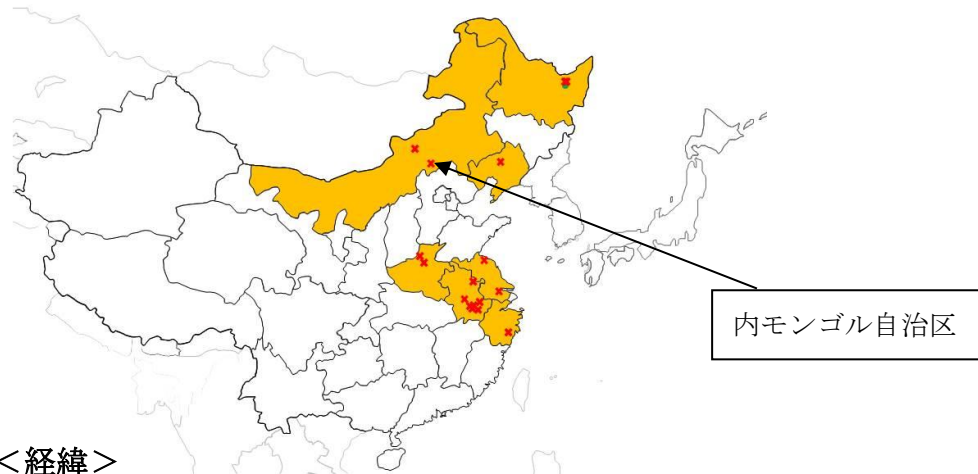
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(16 報目) 9 月 17 日公表 発生数：1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 9 月 17 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

内モンゴル自治区锡林郭勒盟（しりんごるめい）正藍旗（せいらんき）の農場



<経緯>

9 月 17 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、内モンゴル自治区锡林郭勒盟正藍旗にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 159 頭の豚を飼育しており、そのうち 14 頭が症状を呈し、8 頭が死亡。

<中国当局の対応>

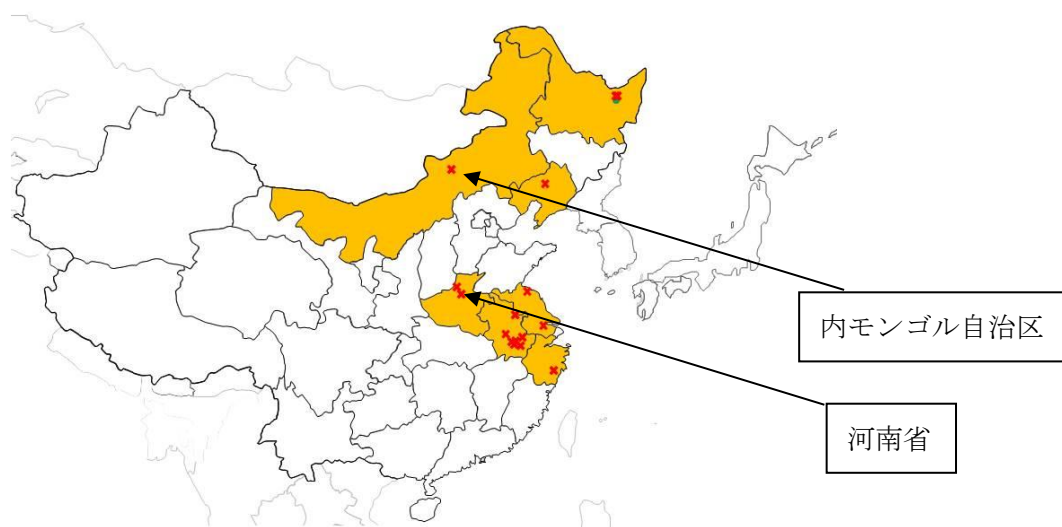
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(15 報目) 9 月 14 日公表 発生数：2 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ (ASF) 追加発生事例について、中国当局が 9 月 14 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

内モンゴル自治区錫林郭勒盟 (しりんごるめい) 阿巴嘎旗 (あばぐき) の農場
河南省 (かなんしょう) 新郷市 (しんごうし) 獲嘉県 (かくかけん) の農場



<経緯>

9 月 14 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、内モンゴル自治区錫林郭勒盟阿巴嘎旗および河南省新郷市獲嘉県にてアフリカ豚コレラが確定診断された。錫林郭勒盟の農場では 16 頭が症状を呈し、16 頭が死亡。新郷市の農場では 148 頭が症状を呈し、64 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

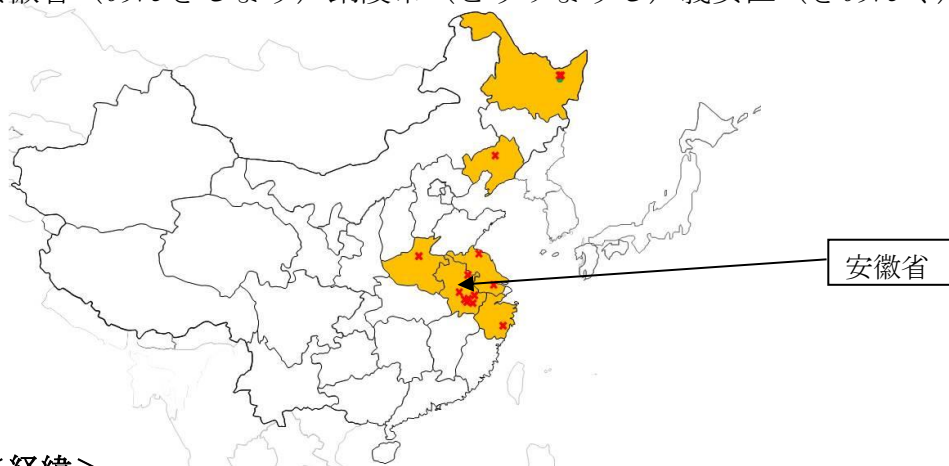
錫林郭勒盟の農場では 221 頭、新郷市の農場では 2023 頭の豚を淘汰した。

(14 報目) 9 月 10 日公表 発生数：1 農場

中国におけるアフリカ豚コレラ（ASF）追加発生事例について、中国当局が 9 月 10 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省（あんきしょう）銅陵市（どうりょうし）義安区（ぎあんく）の農場



<経緯>

9 月 10 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省銅陵市義安区にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 219 頭の豚を飼育しており、そのうち 63 頭が症状を呈し、23 頭が死亡。

<中国当局の対応>

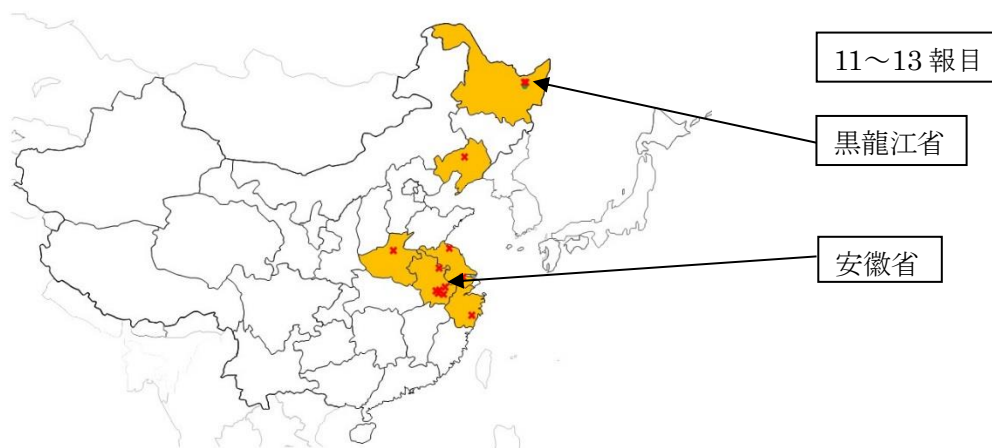
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(11～13 報目) 9 月 6 日公表 発生数 : 3 農場

中国で 11～13 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 6 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

黒龍江省 (こくりゅうこうしょう) 佳木斯市 (じゃむすし) 向陽区 (こうようく)、
安徽省 (あんきしょう) 蕪湖市 (ぶこし) 南陵県 (なんりょうけん)、
安徽省 (あんきしょう) 宣城市 (せんじょうし) 宣州区 (せんしゅうく) の農場



<経緯>

9 月 6 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、黒龍江省佳木斯市向陽区、安徽省蕪湖市南陵県、安徽省宣城市宣州区にてアフリカ豚コレラが確定診断された。黒龍江省の当該農場では 203 頭の豚を飼育しており、そのうち 26 頭が症状を呈し、10 頭が死亡。安徽省蕪湖市では 30 頭の豚を飼育しており、そのうち 13 頭が症状を呈し、4 頭が死亡。安徽省宣城市の当該農場では 52 頭の豚を飼育しており、そのうち 15 頭が症状を呈し、15 頭が死亡。

<中国当局の対応>

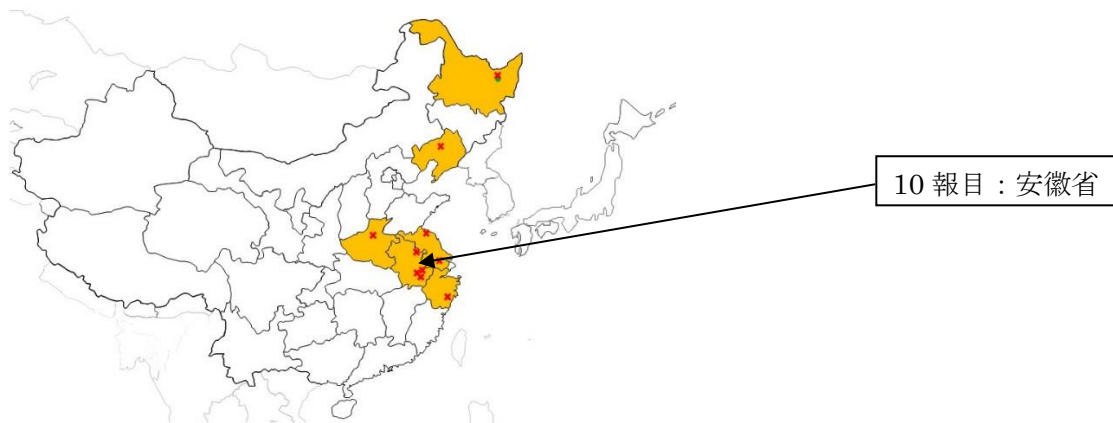
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(10 報目) 9 月 6 日公表 発生数：1 農場

中国で 10 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 6 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 滁州市 (じょしゅうし) 鳳陽県 (ほうようけん) の農場



<経緯>

9 月 6 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省滁州市鳳陽県にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 886 頭の豚を飼育しており、そのうち 62 頭が症状を呈し、22 頭が死亡。

<中国当局の対応>

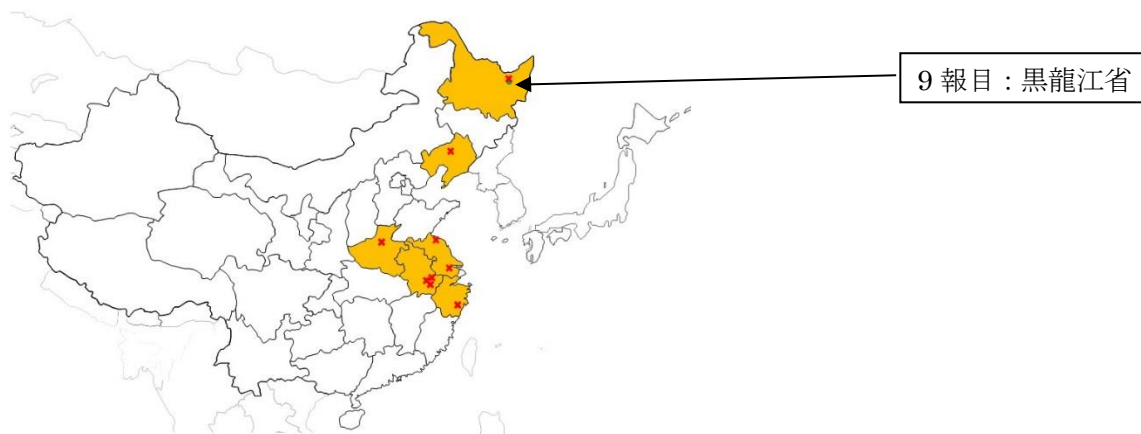
中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(9 報目) 9 月 5 日公表 発生数：1 農場

中国で 9 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 5 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

黒龍江省 (こくりゅうこうしょう) 佳木斯市 (じゃむすし) 郊区 (こうく) 長青郷 (ちようせいこう) の農場



<経緯>

9 月 5 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、黒龍江省佳木斯市郊区長青郷にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 87 頭の豚を飼育しており、そのうち 39 頭が症状を呈し、12 頭が死亡。

<中国当局の対応>

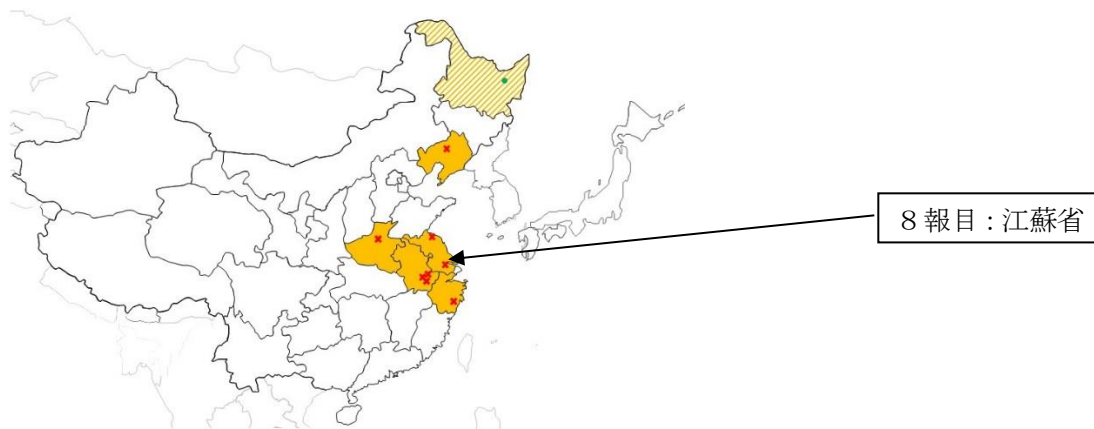
中国当局は、黒龍江省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(8 報目) 9 月 3 日公表 発生数：1 農場

中国で 8 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 3 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

江蘇省 (こうそしょう) 無錫市 (むしゃくし) 宜興市 (ぎこうし) の農場



<経緯>

9 月 3 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、江蘇省無錫市宜興市にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 97 頭の豚を飼育しており、そのうち 12 頭が症状を呈し、9 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、江蘇省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

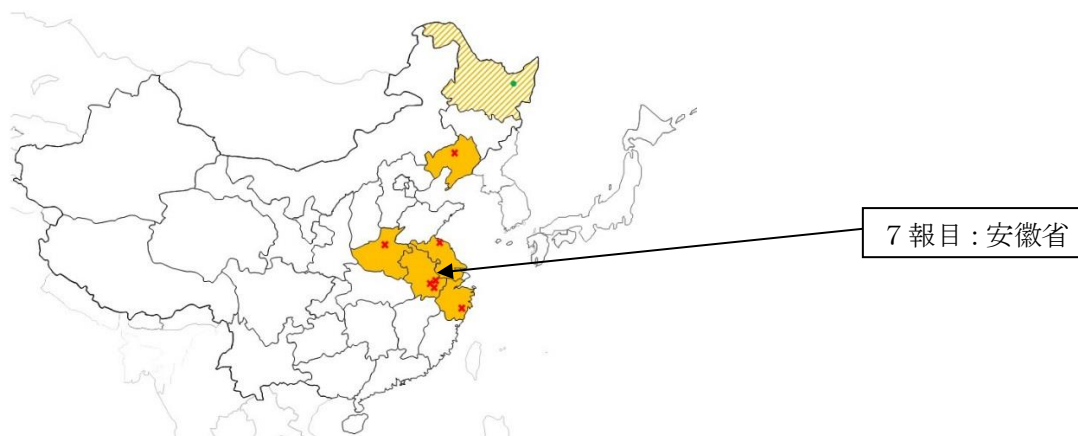
9 月 4 日までに、疫点全 88 頭、疫区全 22 頭の豚の殺処分が完了。死亡豚および殺処分豚は生物学的に安全な方法で処理された。江蘇省では、封鎖、消毒、サーベイランス、スクリーニングを継続実施中。

(7 報目) 9 月 3 日公表 発生数：1 農場

中国で 7 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 3 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 宣城市 (せんじょうし) 宣州区 (せんしゅうく) 金壩街道 (きはかいどう) の農場



<経緯>

9 月 3 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省宣城市宣州区金壩街道にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 308 頭の豚を飼育しており、そのうち 152 頭が症状を呈し、83 頭が死亡。

<中国当局の対応>

発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

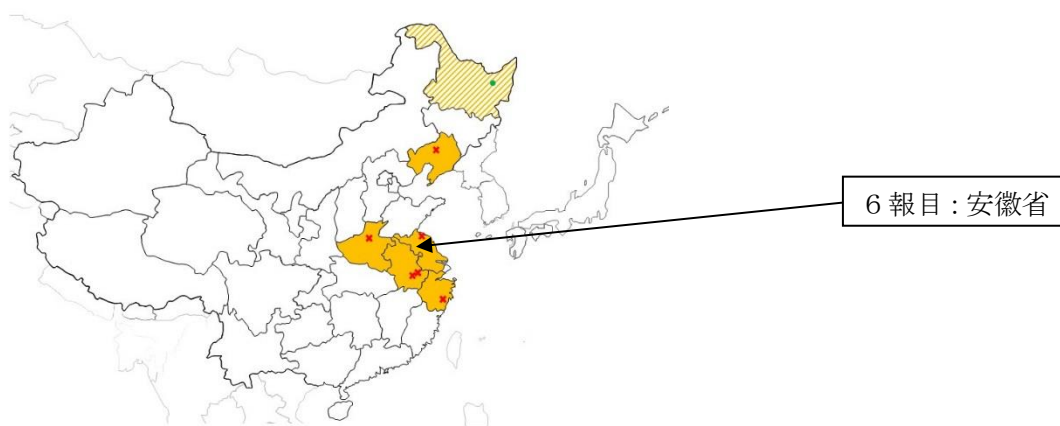
9 月 4 日時点で、疫区の殺処分を進行中であり、620 頭を淘汰済み。

(6 報目) 9 月 2 日公表 発生数：2 農場

中国で 6 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 2 日に発表したプレスリリース、農林水産省が 9 月 3 日に在中国日本大使館より入手した情報等の概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 宣城市 (せんじょうし) 宣州区 (せんしゅうく) 古泉鎮 (こせんちん) および五星郷 (ごせいごう) の農場



<経緯>

9 月 2 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省宣城市宣州区古泉鎮および五星郷にてアフリカ豚コレラが確定診断された。古泉鎮の養豚農場では 285 頭の豚を飼育しており、そのうち 63 頭が症状を呈し、42 頭が死亡、五星郷の養豚農場では 440 頭の豚を飼育しており、そのうち 153 頭が症状を呈し、111 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、安徽省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

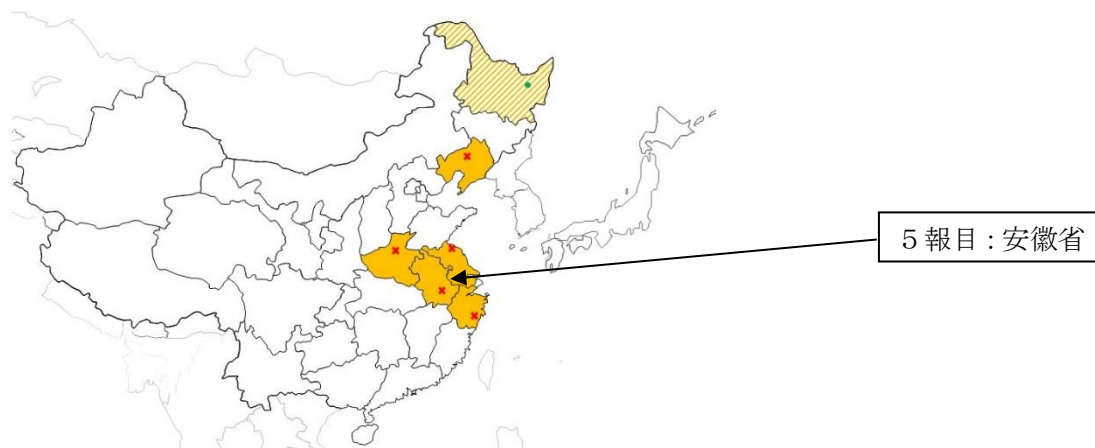
9 月 4 日時点で、疫区の殺処分を進行中であり、古泉鎮では 3425 頭、五星郷では 1393 頭を淘汰済み。

(5 報目) 8 月 30 日公表 発生数：1 農場

中国で 5 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 30 日に発表したプレスリリース、8 月 31 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 蕪湖市 (ぶこし) 南陵県 (なんりょうけん) の農場



<経緯>

8 月 29 日 安徽省蕪湖市南陵県の豚農場において、原因不明の死亡豚を確認。同農場は 459 頭の豚を飼養しており、185 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 80 頭が死亡。

8 月 30 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。

<中国当局の対応>

中国当局は、安徽省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。同農場で飼育されている豚 379 頭を淘汰・無害化处理済み。

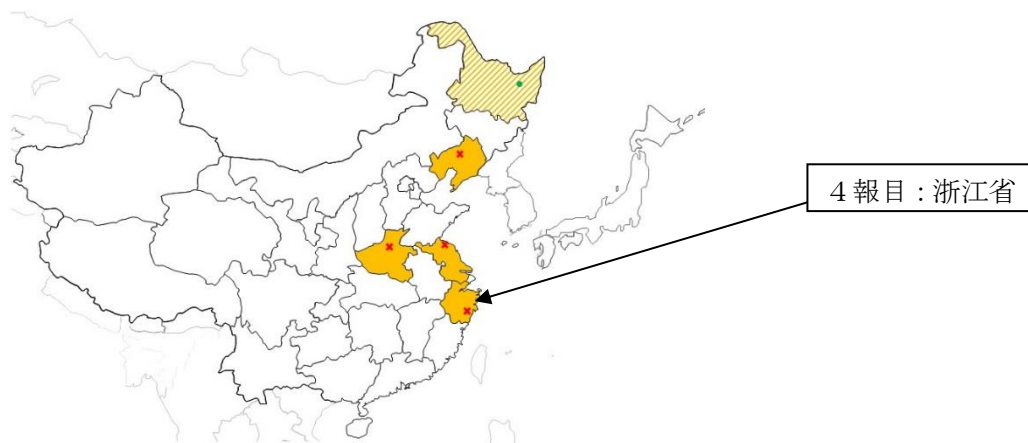
9 月 4 日までに疫点 379 頭、疫区 1359 頭の殺処分が完了。

(4 報目) 8 月 23 日公表 発生数：3 農場

中国で 4 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 23 日および 10 月 10 日に発表したプレスリリース、8 月 23 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

浙江省 (せつこうしょう) 温州市 (おんしゅうし) 樂清市 (がくせいし) の養豚繁殖農場



<経緯>

8 月 17 日 浙江省温州市樂清市の 3 件の繁殖豚農場において、原因不明の死亡豚を確認。

8 月 22 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。8 月 23 日現在、430 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 340 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、浙江省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

疫区における封鎖、消毒、スクリーニングを継続実施中。8 月 26 日までに殺処分は完了しており、死亡豚含め、1,864 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

8 月 29 日までに、116,000 農場 43,148,500 頭のスクリーニング検査を実施済み。

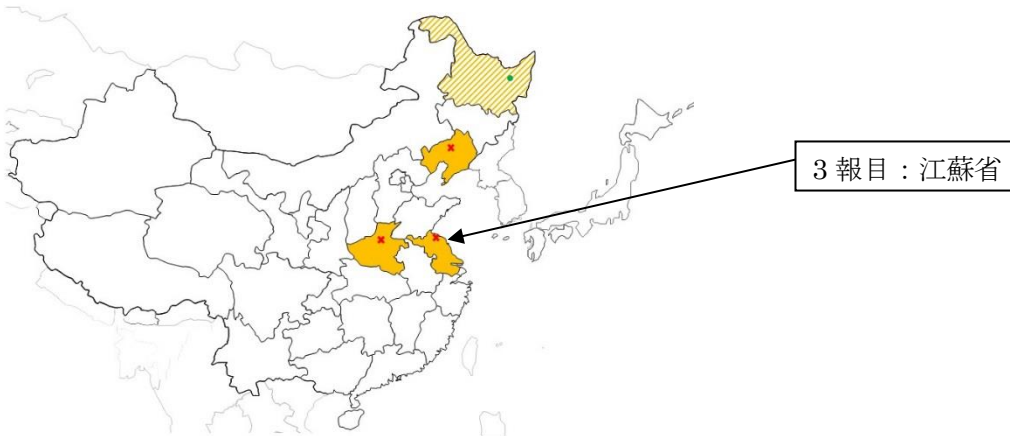
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 10 日 15 時を以て、浙江省温州市樂清市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(3 報目) 8 月 19 日公表 発生数：1 農場

中国で 3 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 19 日および 10 月 3 日に発表したプレスリリース、8 月 19 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

江蘇省 (こうそしょう) 連雲港市 (れんうんこうし) の農場



<経緯>

8 月 15 日 江蘇省 (こうそしょう) 連雲港市 (れんうんこうし) の農場において、原因不明の死亡豚を確認。

8 月 19 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。確定時までには 615 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 88 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、江蘇省へ指揮団を派遣し、発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

9 月 3 日には、死亡豚を含め、14,686 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

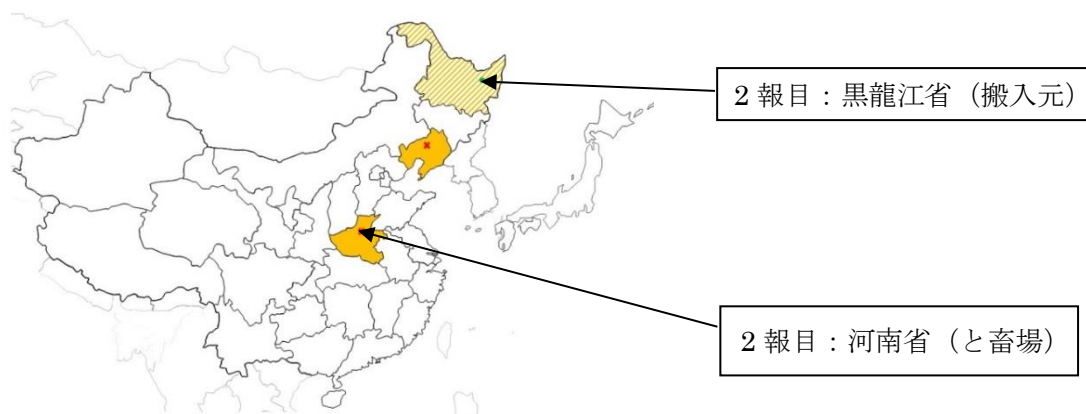
10 月 3 日、疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 4 日付けで江蘇省連雲港市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(2 報目) 8 月 16 日公表 発生数：1 施設

中国で2報目のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が8月16日と9月30日に発表したプレスリリースおよびOIEへ報告した内容等の概要は以下のとおり。

<場所>

河南省（かなんしょう）鄭州市（ていしゅうし）のと畜場



<経緯>

- 8月14日 黒龍江省（こくりゅうこうしょう）佳木斯市湯原県（じゃむすしとうげんけん）から河南省鄭州市に搬入された260頭の豚のうち、死亡した30頭の豚でアフリカ豚コレラの症状が認められた
- 8月16日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定

<中国当局の対応>

中国当局は、河南省鄭州市のと畜場を発生地点とし、半径3kmを疫区、10kmを脅威区域と設定。全ての死亡豚、殺処分された豚の消毒、疫区の隔離、封鎖、安全管理、情報管理等の対応を開始。また、豚の搬入元である黒龍江省では疫学調査を実施。

9月3日には、死亡豚を含め、1,806頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

河南省では疫区における封鎖、消毒、スクリーニングを継続実施中。8月19日までに殺処分は完了しており、疫点1,349頭、疫区427頭の計1,776頭を殺処分した。8月29日までに、229,600農場54,178,000頭のスクリーニング検査を実施し、異常は見つかっていない。黒龍江省では追跡調査が実施され、8月26日までに、27,800農場39,547,000頭のスクリーニング検査を実施し、異常は見つかっていない。

9月30日、疫区の豚の淘汰完了後、6週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10月1日付けで河南省鄭州市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(1 報目) 8 月 3 日公表 発生数：5 農場

中国で初のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 3 日、4 日、10 日、16 日、9 月 7 日に OIE へ、8 月 6 日に在中国日本大使館へ情報提供した内容等の概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 瀋陽市 (しんようし) 瀋北新区 (しんほくしんく) の養豚繁殖農場 (383 頭飼養) および周辺農場



<経緯>

8 月 1 日	疑い事例確認 (383 頭のうち 47 頭が死亡)
8 月 2 日午後 5 時	中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査開始
8 月 3 日午前 11 時	ASF 確定 (遺伝子検査 (リアルタイム PCR))

<中国当局の対応>

中国当局は、発生農場から半径 3km の範囲を疫区に設定し、発生農場含む疫区内の全ての豚 8,116 頭の殺処分・消毒を完了。発生農場および疫区における厳格な封鎖・消毒等を継続。疫区内に計 8ヶ所の消毒地点、疫区内の全ての農場、出入りする車両等に対し消毒を実施中。中国当局は農場、市場、と場、工場、家畜又は畜産物処理場を含む地点における疫学調査と緊急サーベイランスを、重要区域 (北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、遼寧省、吉林省、黒龍江省、広東省、甘肅省、新疆ウイグル自治区) を中心に全土で実施しており、8 月 14 日までに 35,540,000 頭、10,226 サンプルの調査を終え、脅威区域 (発生地点から 3-50km 圏内で設置。実際の距離は不明。) 内の 2ヶ所の村から採材された 7 サンプルでアフリカ豚コレラ核酸陽性。当該の村の生きた豚は淘汰された。7つの新たな陽性例は瀋北新区の 2つの町の 4 農場から採取した 59 サンプルから確認された。7つの事例の詳細は以下のとおり。

農場①160 頭飼養、15 頭採材、3 頭陽性 ②55 頭飼養、10 頭採材、1 頭陽性 ③216 頭飼養、20 頭採材、2 頭陽性 ④140 頭飼養、14 頭採材、1 頭陽性。

また、発生農場の豚の追跡調査により、感染豚の由来農場が判明。環境サンプルはアフリカ豚コレラ核酸陽性。由来農場付近の 676 頭の豚を淘汰。

9 月 3 日現在、死亡豚を含め、19,420 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

遼寧省では、8 月 29 日までに、246,100 農場、63,861,600 頭をスクリーニング。

9月29日、疫区の豚の淘汰完了後、6週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、遼寧省瀋陽市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。